

令和6年度 福生市立学校評価書総括表

福生市立福生第五小学校 校長 泉田 巧人

	学校自己評価総括	改善策	学校関係者評価総括	改善策	総括評価
福生第五小学校	(1) 学力向上のために ①分かりやすい授業のために、「ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり」や「ICTの活用」に取り組んだ。 ②特別支援教育の視点からの児童理解を行った。 (2) 豊かな心の育成 ①いじめについて、校長講話等で複数回取り上げるとともに、「いじめ防止サミット」等を活用していじめの未然防止に取り組んだ。 ②全ての学年において人権擁護委員を講師として招聘し、道徳科の授業を行った。 ③特別活動で学級会等を重視してコミュニケーションの能力の育成を図り、学級経営に生かした。 (3) 健康でねばり強い子の育成 ①生活リズムや生活習慣、について、保護者との連携を図った。 ②アルティメット教室等、体力向上の取組を進めた。	(1) 学力向上のために ・管理職による特別支援教育の研修、校内研究やOJTの内容等の充実や指導法やOFFJTを積極的に受講させることにより、各教員の資質・能力の向上を図る。 ・管理による授業観察を行い、指導・助言をすることで更に授業改善を図る。 (2) 豊かな心の育成 ・学級活動の学級会等を意図的、計画的に行い、自治的な行動をとれる児童を増やしていく。 ・全ての教員が発達支持的生徒指導を理解し、褒める、認めるなど肯定的な言葉掛けや指導により、自己肯定感の向上を図る。 ・指示的風土の有る学級づくりを推奨するとともに、自尊感情、自己肯定感を育む肯定的な言葉声掛けを充実させる。 (3) 健康でねばり強い子の育成 ・自己評価や振り返りの学習を充実させ、児童の粘り強さを育てていく。 ・個々の児童を理解すること、特性や発達段階をよく理解することに努める。 ・委員会等を活用し、運動を楽しむ仕掛けを工夫し、体力の向上を図る。	(1)・学校評価保護者アンケートの回収が 36.5%と低い結果であった。 ・児童アンケート学習の理解【A・B88%+3ポイント】 (2) 次のような評価があった。(令和5年度比) 保護者アンケート ①好ましい友達関係【A評価 41%+6ポイント】 ②健康で安全な生活【A評価 48%+8ポイント】 ③生命を大切にする心や、社会のルールを守る態度【A評価 50%+16ポイント】 ③授業や行事を参観する機会【A評価 83%+13ポイント】 (3) コミュニティ・スクール(以下「CS」という)に関する認知度は確実に上がっている。(令和5年度比)。 ①CSの指定を受けている。【A評価 79%+3ポイント】 ②自然観察会等について、家庭で話している。【A評価 73%+13ポイント】 コミュニティ・スクール委員 ③学校だよりでGCSの取組を紹介することで知ることができる。【A評価 55%+1ポイント】	(1)回収率 80%以上を目標に、回答しやすい工夫を行う。 (2) 保護者アンケートの結果 ①学級活動等の充実を図る。 ②安全・安心で一人一人を大切にす学校づくりを全教員で行う。 ③タブレット型パソコン等のICT機器を効果的に活用する。ユニバーサルデザインの視点を生かした授業を推進する。 (3) CSに関するアンケート ①各学年の授業において、GCSを要に地域人材と協働し授業を充実させる。 ②安全教育を推進し、GCS、保護者と協働の基授業を行う。	(1) 児童の基礎的・基本的な知識及び技能を定着させるため、校内研究の充実を図るとともに、OFFJTなどに積極的に参加し、資質・能力の育成を組織的に行う。 (2)「主体的な学び」を引き出すために、特別支援教育の視点を生かすとともにユニバーサルデザインの授業づくりを重視する。 (3) 全教員が発達支持的生徒指導を理解し、生徒指導力を身に付け、児童へ対応する。 (4) 特別支援教育の知識及び児童理解の力を全教員が身に付け、学級経営と個別の支援のバランスがとれるようにする。 (5) 各種委員会等により児童の情報を確実に共有し、福生御スタンダードを徹底し、ブレのない一貫した指導をする。 (6) CSを生かした地域連携により、体験的、探究的、課題解決的な活動を充実し、課題解決の取組を充実させる。